

環境エネルギービジネスの歩みと展開

リースを起点に隣へ、さらにその隣の事業領域へ



エネルギー分野

リース+
コンサルティング
機能から派生

ESCO

- 1995 風力発電事業に出資
- 2000 ESCOサービス開始
- 2002 オリックス(株)に環境エネルギー部発足

電力事業へ参入

- 2007 電力卸売事業開始
- 2008 吾妻電力(株)
(現:(株)吾妻バイオパワー)買収
- 2009 電力小売事業開始

リース

- 1995 電気事業制度改革(卸売自由化)

- 2002 RPS法(新エネ等電気利用法)制定
- 2005 日本卸電力取引所、電力取引開始

国内外の動き

- 1997 京都議定書採択
廃棄物処理法改正による規制強化
- 1998 地球温暖化対策推進法制定

- 2000 循環型社会形成推進基本法制定
- 2002 自動車リサイクル法制定
- 2005 京都議定書発効
自主参加型国内排出量取引制度創設

環境分野

自社リース終了物件の
適正処理から派生

廃棄物処理の仲介

- 1998 オリックス環境(株)設立

ネットワークの構築

- 2002 オリックス資源循環(株)設立
- 2003 広域リサイクルシステム開始



オリックスは、1964年に創業して以来、リース事業からスタートして隣接分野に次々と進出し、さまざまな専門性を獲得することにより、事業を進化させてきました。環境エネルギー分野においても、1995年の風力発電事業への出資を皮切りに、廃棄物処理や省エネルギーサービス、電力供給、再生可能エネルギーによる発電、金属資源事業など幅広く展開しています。



省エネルギーサービスの拡大

- 2010 太陽光発電システム販売開始
- 2010 オリックス電力(株)を設立し、電力一括購入サービス開始
- 2010 (株)ユビテックに資本参加

発電事業を開始

- 2011 吾妻木質バイオマス発電所営業運転を開始

再生可能エネルギー事業の拡大

- 2012 太陽光発電事業開始
- 2012 デマンドレスポンスサービス「はっとわっと」開始
- 2013 ONEエネルギー(株)を設立し、蓄電システムレンタルサービス開始
- 2013 米国のエネルギーサービス会社 Enovity, Inc.を買収
- 2014 Robeco Groep N.V. アジア開発銀行と共同で環境エネルギー投資ファンドを設立
- 2015 米国次世代大型蓄電池ベンチャーUETへ出資
- 2016 インドで1,004MWの大型風力発電事業に参入
- 2016 ベトナムの水力発電事業会社 Bitexco Power Corporation (BPC) に資本参加

2009 太陽光発電の余剰電力買取制度開始

2010 改正省エネ法施行
2011 再生可能エネルギー特別措置法成立

2012 再生可能エネルギー固定価格買取制度開始

2016 電力小売の全面自由化
建築物省エネ法一部施行

2008 京都議定書第一約束期間開始

2010 改正地球温暖化対策推進法施行
改正東京都環境確保条例施行
生物多様性条約締約国会議(COP10)開催

2012 国連持続可能な開発会議(リオ+20)開催
京都議定書第一約束期間終了
地球温暖化対策税導入

2015 地球温暖化対策推進本部「日本の約束草案」決定
二国間クレジット(JCM)開始
気候変動枠組条約締約国会議(COP21)開催
2016 パリ協定発効

廃棄物処理施設を運営

- 2006 オリックス資源循環(株) 寄居工場稼働
産業廃棄物、特別産業廃棄物、一般廃棄物の処理を開始
- 2008 兼松環境(株)を買収し、船橋環境(株)に社名変更(現:オリックス環境(株))
- 2008 カーボン・オフセットサービス開始

金属資源事業を開始

- 2010 中国科学院と戦略提携
- 2011 中国の水道施設運営会社、中国水務集团有限公司に資本参加
- 2011 インドネシア・ベトナムでJICAの水関連事業に関するPPP調査受託
- 2011 オリックス環境(株)にて金属資源事業開始
- 2013 オリックス環境(株)と船橋環境(株)が合併
- 2015 オリックス資源循環(株)立川市の事業系一般廃棄物の積替中継施設運営開始
- 2016 オリックス環境(株)春日部工場開設、稼働開始
- 2016 オリックス資源循環(株)事業者連携による一般廃棄物処理広域ネットワーク構築
- 2016 オリックス環境(株)小型家電リサイクル事業者認定取得

